

平成16年1月15日

各 位

株式会社UFJホールディングス

(コード番号 8307)

**グループリース事業の統合に関する契約の締結について**  
**～セントラルリース株式会社と株式会社UFJビジネスファイナンスの会社分割契約締結～**

株式会社UFJホールディングス(社長 杉原武)の持分法適用関連会社であるセントラルリース株式会社(社長 田中一好)と、連結子会社である株式会社UFJビジネスファイナンス(社長 清水庸介)は、別紙のとおり、平成16年4月1日を期して、株式会社UFJビジネスファイナンスのリース事業部門の営業を会社分割によりセントラルリース株式会社に承継する会社分割契約を本日付で締結いたしましたのでお知らせいたします。

承継後の新会社は、これまで両社が培ってきた業務ノウハウ・営業基盤等の経営資源を融合し、UFJグループの中核リース会社としてソリューション提供力を高めるとともに、経営の効率化を図り収益力を高めていくことにより、お客様・社会から信頼される業界トップクラスのリース会社を目指してまいります。また、新会社の商号を「UFJセントラルリース株式会社」に変更する予定であります。

なお本件会社分割は、両社の株主の承認と関係当局の認可等を前提としております。

以 上

平成16年1月15日

各位

セントラルリース株式会社  
代表取締役社長 田中 一好  
(コード番号 8599 名証第二部)

株式会社UFJビジネスファイナンス  
代表取締役社長 清水 庸介

セントラルリース(株)と(株)UFJビジネスファイナンス  
のリース事業部門との統合に関する契約の締結について  
(会社分割契約締結のお知らせ)

セントラルリース(株)(以下、「CL」)と(株)UFJビジネスファイナンス(以下、「UFJBF」)は、平成16年1月15日に開催したそれぞれの取締役会の承認を経て、平成16年4月1日を期して、下記のとおりUFJBFのリース事業部門の営業(以下、「承継対象営業」)を会社分割によりCLに承継する会社分割契約を本日付で締結いたしましたのでお知らせいたします。

1. 会社分割の目的

現在、リース業界は再編の真っ只中にあり、大手とそれ以外に二極化する方向に向かっており、規模的にも収益的にもその格差が鮮明になりつつあります。

このような状況の中、リース事業の競争力を強化するためには、UFJグループのリース機能を集約、一元化することにより、CLとUFJBFの双方がこれまで培ってきたリース及び関連サービスのノウハウ、営業基盤を結集するとともに、経営を効率化し、収益力を拡大していくことが必要であると判断し、更なる発展を目指すことを目的に、本分割を行うことといたしました。

なお、本分割に伴い、CLの商号の変更(「UFJセントラルリース株式会社」へ商号変更)及び主要株主の異動がありますので、併せてお知らせいたします。

2. 会社分割の要旨

(1) 分割の日程

分割契約書承認取締役会(両社)	平成16年1月15日
分割契約書調印(両社)	平成16年1月15日
分割契約書承認株主総会(UFJBF)	平成16年2月12日(予定)
分割契約書承認株主総会(CL)	平成16年2月20日(予定)
分割期日	平成16年4月1日(予定)
分割登記	平成16年4月1日(予定)

## (2) 分割方式

### 分割方式

ＣＬを承継会社とし、ＵＦＪＢＦを分割会社とする分社型吸収分割であります。

### 当分割方式を採用した理由

本分割は、ＵＦＪＢＦのリース事業部門の営業をＣＬに承継・統合することにより、リース事業の競争力を強化し、営業基盤の拡大を図るとともに、事業運営を効率化し、収益力の更なる拡大を図ることを目的として行うものであり、実質的にＵＦＪＢＦのリース事業部門の分社化に伴い同部門をＣＬが承継することになるため、分社型の吸収分割を選択したものであります。

そのため、本分割により発行するＣＬの新株式のすべてをＵＦＪＢＦに割当交付するものであります。

## (3) 株式の割当

### 割当株式数

ＵＦＪＢＦにＣＬの新株２，６１４，７００株（普通株式）を全株割当交付いたします。

### 新株割当比率の根拠

#### ア．第三者機関への新株割当比率の算定依頼

ＣＬ及びＵＦＪＢＦは、本分割によりＣＬがＵＦＪＢＦから承継対象営業を承継するに際してＣＬが発行する新株式をＵＦＪＢＦに割り当てる比率に関し、その公正性、妥当性を確保する観点から、第三者機関である中央青山プライスウォーターハウスクーパース・フィナンシャル・アンド・リスク・マネジメント株式会社（以下、「中央青山ＰｗＣＦＲＭ」という）に本分割に係る新株割当比率の算定を依頼いたしました。

中央青山ＰｗＣＦＲＭは、新株割当比率の算定にあたって、承継対象営業について類似会社比準法、収益還元法及び修正簿価純資産法による評価を検討し、ＣＬについて市場株価平均法、収益還元法及び修正簿価純資産法を検討した上で、修正簿価純資産法を基礎として、新株割当比率の案をＣＬ及びＵＦＪＢＦに提示いたしました。

#### イ．新株割当比率の決定

ＣＬ及びＵＦＪＢＦは、中央青山ＰｗＣＦＲＭによるＣＬの新株割当比率算定の方法及びその結果等について慎重に検討し、いずれについても公正妥当なものであると判断いたしましたので、その算定結果を参考としてＣＬ及びＵＦＪＢＦは協議を行い、本分割に際し、普通株式２，６１４，７００株を新たに発行し、その総数をＵＦＪＢＦに割り当てることといたしました。

## (4) 分割により増加する資本の額等

本分割により増加するＣＬの資本金及び資本準備金の額は、以下の通りであります。

- ・資本金 : 増加しません。
- ・資本準備金 : ＵＦＪＢＦから承継する資産の額から、承継する負債の額を控除した額

( 5 ) 分割交付金

分割交付金は支払いません。

( 6 ) 承継会社が承継する権利義務

本分割によりＣＬが承継する権利義務は、以下のとおりであります。

- ・承継対象営業に係るリース資産、割賦債権等の資産、支払手形、買掛金、金融機関からの借入金等の負債、ならびにリース契約、割賦販売契約、売買契約、金銭消費貸借契約等の契約及びこれに基づく権利義務。
- ・承継対象営業に従事するＵＦＪＢＦの従業員との間の雇用契約及びこれに基づく権利義務。

( 7 ) 債務履行の見込み

ＣＬ及びＵＦＪＢＦの資産・負債の額等を勘案し、本分割によるＵＦＪＢＦの承継対象営業のＣＬへの承継後も、両社ともそれぞれ負担すべき債務につき履行の見込みがあるものと判断しております。

( 8 ) 承継会社に新たに就任する役員

分割に際して新たに就任する取締役は、以下のとおりであります。

取締役 清水 庸介 ( 現 株式会社ＵＦＪビジネスファイナンス 代表取締役社長 )

### 3. 分割当事会社の概要

( (6)・(7)・(11) は平成 15 年 9 月 30 日現在、(8)・(9) は平成 15 年 3 月 31 日現在)

(1) 商号	セントラルリース株式会社 (承継会社)	株式会社UFJビジネスファイナンス (分割会社)
(2) 事業内容	リース業	リース業、ファクタリング業
(3) 設立年月日	昭和 44 年 5 月 29 日	昭和 58 年 10 月 8 日
(4) 本店所在地	愛知県名古屋市中区栄一丁目 24 番 15 号	東京都新宿区西新宿一丁目 6 番 1 号
(5) 代表者	代表取締役社長 田中 一好	代表取締役社長 清水 庸介
(6) 資本金	6,567 百万円	1,180 百万円
(7) 発行済株式総数	17,304,000 株	9,600 株
(8) 株主資本	21,214 百万円	2,998 百万円
(9) 総資産	725,292 百万円	410,624 百万円
(10) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(11) 従業員数	440 名	239 名
(12) 主要取引先	(株)UFJ銀行	(株)UFJ銀行
(13) 大株主及び持株比率 (平成 15 年 9 月 30 日現在)	(株)UFJ銀行 9.84% 名古屋鉄道(株) 4.96% (株)トーマン 4.96% (株)中京銀行 4.93% (株)セントラルファイナンス 4.11%	(株)UFJ銀行 34.50% (株)UFJキャピタル 25.00% UFJ信用保証(株) 14.00% 三信(株) 14.00% 東洋プロパティ(株) 12.50%
(14) 主要取引銀行	(株)UFJ銀行 (株)みずほコーポレート銀行 (株)あおぞら銀行	(株)UFJ銀行 UFJ信託銀行(株)
(15) 当事会社の関係	資本関係	UFJBFは、CLの株式を96,000株(持株比率0.55%)保有しております。
	人的関係	なし
	取引関係	UFJBFとCLの間で情報機器に関するリース取引等があります。

(注) 上記は、ファクタリング事業を含む全社の状況であります。

#### (16) 最近3決算期間の業績

決算期	セントラルリース株式会社 (承継会社)			株式会社UFJビジネスファイナンス (分割会社)		
	13年3月期	14年3月期	15年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期
売上高(百万円)	235,218	244,542	256,815	67,621	73,282	80,789
営業利益(百万円)	674	1,555	245	587	286	1,000
経常利益(百万円)	1,289	1,615	1,278	857	1,240	1,172
当期純利益(百万円)	638	966	450	4,111	659	1,677
1株当たり当期純利益(円)	36.90	55.86	25.79	428,257.98	68,684.81	174,781.94
1株当たり配当金(円)	5.00	6.00	7.00	0.00	0.00	0.00
1株当たり株主資本(円)	1,185.64	1,235.99	1,226.25	163,451.56	198,896.82	312,345.07

(注) 1. 上記は、ファクタリング事業を含む全社の状況であります。

2. 平成 14 年 7 月 1 日に、旧三和ビジネスクレジット株式会社(存続会社)とセントラルファクター株式会社(解散会社)が合併、株式会社UFJビジネスファイナンスに商号変更しております。

3. 平成 15 年 3 月期は存続会社の合併前の業績(平成 14 年 4 月 1 日から平成 14 年 6 月 30 日)を包含しております。平成 13 年 3 月期、平成 14 年 3 月期は存続会社について記載しております。

#### 4. 承継事業の内容

##### (1) 承継する事業部門の内容

U F J B F の営むリース事業部門であります。

同事業部門においては、主力のリース取引のほか、割賦販売取引等を行っております。

##### (2) リース事業部門の経営成績（平成 15 年 3 月期）

（単位：百万円）

	承継事業 ( a )	当 社 ( b )	比率 ( a / b )
売 上 高	70,502	256,815	27.45%
売 上 総 利 益	2,196	10,701	20.52%

##### (3) 譲渡資産・負債の項目および金額（平成 15 年 9 月 30 日現在）

（単位：百万円）

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流 動 資 産	32,364	流 動 負 債	90,262
固 定 資 産	157,336	固 定 負 債	95,989
合 計	189,701	合 計	186,252

#### 5. 承継後の C L の状況

(1) 商号	U F J セントラルリース株式会社 (登記上は、「ユーエフジェイセントラルリース株式会社」)
(2) 事業内容	総合リース業
(3) 本店所在地	名古屋市中区栄一丁目 24 番 15 号
(4) 代表者	代表取締役社長 田中 一好
(5) 資本金	6,567 百万円
(6) 総資産	913,965 百万円 ( 189,701 百万円 ) (注) 平成 15 年 9 月 30 日時点での試算値であり、( ) 内は分割による増加見込み分であります。
(7) 決算期	3 月 31 日
(8) 業績に与える影響	現在、平成 16 年度予算の編成中であり、平成 17 年 3 月期の業績予想時に開示いたします。

## 6. CLの商号変更について

平成15年6月、UFJグループにおける法人向けリース事業の中核会社としての位置づけを明確にするため、(株)UFJ銀行はCLへの出資比率を引き上げ、CLは同行の持分法適用関連会社となり、UFJグループの一員となっております。

またCLは、中部地区を基盤として35年近くリース事業を行っており、現商号のブランド、信用力は社内外に深く浸透しております。

このような状況を鑑み、商号につきましては、現行のブランドを残しつつ、UFJグループの一員であることを明確化するため、本分割に伴い、平成16年2月20日開催予定の臨時株主総会の承認を前提として、平成16年4月1日付けで、「UFJセントラルリース株式会社」(登記上は「ユーエフジェイセントラルリース株式会社」、英文ではUFJ Central Leasing Company Limited またはUFJ Central Leasing Co., Ltd.)へ変更するものであります。

## 7. 主要株主の異動について

本分割に伴い、平成16年4月1日時点で、UFJBFによるCLの株式の所有株式数(議決権の数)及び総株主の議決権の数に対する割合は以下の表の通りとなる予定であります。

### ・UFJBFの所有株式数(議決権の数)及び総株主の議決権の数に対する割合

	所有株式数 (議決権の数)	総株主の議決権の数 に対する割合	大株主順位
異動前 (平成15年9月30日現在)	96,000株 (960個)	0.55%	-
異動後	2,710,700株 (27,107個)	13.67%	第1位

以 上